

共・育 (とも・いく)

R2. 4. 9

共に学び 共に生きる ～友と学び 友と生きる～

令和2年度がスタートしました。コロナウイルスへの対応で、入学式や始業式の開催が心配されましたが、なんとか開催にたどり着くことができました。まだまだ予断を許しませんが、新生森中生総勢199名で令和2年度もがんばっていきたいと思います。

森中学校の学校教育目標は、昨年度から「共に学び 共に生きる ～友と学び 友と生きる～」です。今年度の泉陽中学校との統合を踏まえ、“共”、“友”がキーワードになっています。学校で友達と共に生活する。地域に生きる子供たちを、地域と共に育てる。学校便りのタイトル「共・育」には、そのような思いを込めています。間の「・」には、「つなぐ」という思いを込めています。地域、家庭、学校が一体となって、これからの森町を背負っていく子供たちを育てていけたらと思っています。



始業式、入学式ともに感染症対策を整え、儀式行事に臨みました。

始業式の校長式辞では、次のように話がされました。

令和2年度が始まりました。新3年生、新2年生になった今の心境はどうでしょうか？きっと期待だけでなく、少しの不安も持って新年度を迎えた人もいると思います。

さて、昨年度末で58年の歴史を刻んだ泉陽中学校が閉校をしました。生徒だった人たちは様々な思いを抱いて今日を迎えたと思います。（寂しいね、卒業生である私も、心に小さな穴がぽっかりあいたようです。）

しかし、振り返ってばかりはいられませんね。皆さんも新たな森中の伝統と歴史を繋ぐ大切な存在です。是非、自信と誇りを持って、一日一日を有意義に過ごして欲しいと思います。

今から、新しいスタートに向けて校長としての思いを伝えます。全員、心で聴いてください。

森中学校は君たちの学校です。他の誰のものでもありません。君たち全員には、この学校をより良い学校にしていく責任があります。もし、「それは重荷だな」と思った人がいても、残念ながらそれからは逃れられません。一人残らずこの学校を支える柱であり、壁であり、屋根なのです。たった一人が力を抜いたり、森中生という自覚を忘れてきたときには、この学校は傾いていきます。言い換えれば、君たち全員がこの森中学校にとってかけがえのない大切な存在だということです。当然、一人一人生まれ育った環境が違うし、考え方や価値観も違います。だからこそ、自分以外の全て人の心をしっかり理解し、思いを受け止めて力を合わせる事が一番大切になります。森中学校の目標である「共に学び 共に生きる ～友と学び 友と生きる」はそんな私の強い気持ちが込めてあります。

最後に一つお願いです。自分に厳しく、人に優しく、これを心掛けてください。全員がそういう気持ちでいられると毎日が楽しく、充実したものになると思います。また、「自分がされて嫌なことは、人にしない、言わない」これを忘れないでほしい。

君たちすべてが、この学校の大切な宝です。先生方は全力で君たちを守り、支えていくことを約束します。君たちの未来をすばらしいものにするため、共にがんばっていきましょう。



生徒に関わる学校各所を修繕していただきました！



＜教室床ウレタン塗装＞



＜生徒用ロッカー化粧板補修＞



＜下駄箱 底板 修繕＞



＜自転車置き場新設＞

どの工事も、令和2年度の開始に間に合うように、短期間できれいに仕上げていただきました。気持ちよくスタートが切れます。

職員を紹介します

1年間、よろしくお願いします!!

